

事後抄録

臨床懇話会

オフィスサージャリー

としての形成外科



講師の青木氏

研究部は7月12日、臨床懇話会を協会会議室とWEB併用で開催。湘南台青木形成外科クリニック・院長／横浜市立大学医学部・臨床教授の青木文彦氏が講演し、69名が参加した。事後抄録を掲載する。

形成外科は他の診療科に比べて比較的新しい診療科であり、従来より他科との協力体制によって診療を行うことが多いといった側面を持っています。したがって形成外科単独の一般診療所の数はまだまだ少なく、大学病院をはじめ総合病院クラスでの診療科設置が多く、形成外科紹介となる場合は総合病院への紹介となる

への切実な要望が出されている。日医や全国知事会は早急な期中改定の実施、日病は入院基本料10%の引き上げ等を要望。最近では形成外科を標榜する診療所も少しずつ増え、外科的処置を行うことができる体制は整えていると

思いますし、手術室まで設置しているところも多いはず。多忙な日常診療の

中で手間のかかる外科的処置を行うのはなかなか困難である診療所も多いかと思いますが、そのようなときに近隣の形成外科クリニックに気軽に紹介してみたいかがでしょうか。形成外科の場合、体表面に関しては頭の先からつま先までが守備範囲となっているため、一般診療所において切開排膿をはじめ皮膚のできないもの（腫瘍）の切除やその他外科的処置の依頼を行うにあたり病変部位による選別が不要であることは利点と言えるでしょう。今回は形成外科で扱う疾患、対処法など他の診療科の先生方に知っていただくために代表的なものを頭頂部から足の趾先まで供覧いたしました。これにより今までは総合病院に紹介していたような症例も近隣の形成外科に紹介するという選択肢が増えるきっかけとなり、診療連携の幅を広げることができれば幸いです。＊協会HPにて配信中。

事後抄録

歯科臨床研究会

ゴシックアーチ検査

～Gothic Arch描記から読み解く顎機能と咬合の関係～



講師の小川氏

歯科研究部は8月7日、歯科臨床研究会を協会会議室とWEB併用で開催。鶴見大学歯学部ク라운ブリッジ補綴学講座教授・小川匠氏が講演し、156名が参加した。事後抄録を掲載する。

本講演では、補綴治療に

おける咬合検査の重要性を改めて確認しつつ、顎口腔機能の評価法としてのゴシックアーチ描記や、日常臨床での活用が期待される機能検査の考え方、そしてこれらの知見を活かしたデジタル補綴との連携について、臨床実例を交えながらご紹介した。初めに、鶴見大学ク라운ブリッジ補綴学講座における我々が進めているデジタル技術を用いた補綴治療

16年ぶりの高水準だ。診療報酬はこの20年間で累計10%以上のマイナスである。8月27日の中医協総会

た。支払側は、病院と診療所の経営状況の違いが明確で、26年度改定ではメリハリを付けた対応が必要と主張した。26年度

主張

診療報酬改定「大幅プラス」、

期中改定を求める！

署名運動等、ご協力を！

診療所・病院の経営は、過去に類を見ないほどの危機的状況だ。2024年度診療報酬改定では特に内科が大打撃、23年度比でレセプト平均点数が▲12・4%の大幅減だ。そしてこの間の急激な物価・水道光熱費等の上昇に加えて、10月からは最低賃金の引き上げも控える。診療報酬は「公定価格」であり、原則2年に1度の改定でしか対応できない。当然、医院経営は苦しさを増す一方で、医療団体からも、改定

全自病は「自治体病院の9割が経常赤字」、国立大病院長会議は「支援がないとつぶれかねない」と窮状を訴えている。今年上半期の倒産件数は、

では23年度の病院・診療所の経営状況が報告され、医科診療所の医業利益率は平均＋6・9%、歯科診療所は＋4・1%、病院が▲0・7%であっ

改定を議論するのであれば、24年度改定後の経営実態で判断するべきだ。24年度は速報値ながらも、医科・無床診療所（医療法人）は▲3・0%、

▲2・0%で、大きく状況は異なっている。政府の骨太の方針により、次年度改定は「高齢化による増加分に相当する伸びにこうした経済・物価動向等を踏まえた対応に相当する増加分を加算する」とされ、プラス改定は言うまでもない。焦眉は、どれだけのプラスが勝ち取れるかである。これに加えて、26年6月改定前の「期中改定」も不可欠だ。次年度改定まで、医療現場は待つていられない。協会では今秋、診療報

原発事故時、神奈川県方面への放射性物質拡散は？静岡県と懇談

ご関心のある先生はご連絡を

2011年の福島第一原子力発電所事故は、広範囲にわたり深刻な被害をもたらしました。静岡県の浜岡原子力発電所で重大事故が発生した場合には、神奈川県にも広範な影響が及ぶ可能性があります。

南海トラフ巨大地震の危険性や能登半島地震の教訓なども踏まえ、公害環境対策部は静岡県と懇談することといたしました。10月14日(火)午後4時から1時間程度、協会会議室とWEB会議の併用で実施する予定です。

具体的には、▽神奈川県方面への放射性物質の拡散、▽原発事故時の放射性物質拡散シミュレーション、▽事故発生時の想定頻度、▽原子力発電所の安全性向上に向けた県の取り組み体制—などについて質問する予定です。

ご関心のある先生は10月10日(金)正午までに、公害環境対策部までご連絡ください (TEL:045-313-2111)。

を築くうえで非常に有効であるといえる。次に本題である、顎口腔機能の検査法のひとつであるゴシックアーチ描記法に焦点を当て、その基礎的な原理から症例をもとに応用的な活用方法まで取り上げたい。ゴシックアーチは、下の顎の前後・側方運動を記録し、運動軌跡の交点であるアベックスポイントや咬合位との関係を分析することによって、下顎の運動特性や咬合の安定性を評価できる方法である。特別な機器を用いず、検査は、技術的な敷居が高いと見られがちであるが、目的と手順を明確にすれば、限られた時間内でも効率的に実施することができ、本講演が、咬合検査や機能評価の重要性を再認識するきっかけとなり、明日からの診療に小さなヒントを持ち帰っていただけたのであれば幸いです。

第26回医療・健康フェスティバル(市民向けイベント) 当日の「健康相談医」募集中！

医療・健康フェスティバルとは…？

神奈川県保険医協会が定期開催している市民向けイベント。会員の先生方による健康相談は毎年ご好評いただいています！

保険医協会では、第26回医療・健康フェスティバルを下記の通り開催致します。この催しは、健康や医療制度に関心をもっていただくことを目的に、会員の先生方のご協力のもと、医科・歯科の健康相談や医療に関する相談コーナー、アンケート回答で景品が当たるくじ引き企画等をすべて無料で実施しています。例年、一般参加者は1000名超（延べ）、協力医の先生方にも「患者の本音が聞ける」と好評です。先生方のご参加をお待ちしております。

開催概要	
日時	2025年10月19日（日） 午後1時から午後4時まで
場所	横浜そごう前・イベント広場（新都市プラザ／横浜駅東口より徒歩3分）
テーマ	「お金の心配なく、安心して医療にかかる社会へ」
企画	①健康相談（医科・歯科・栄養相談） ※栄養相談は県栄養士会の協力のもと実施 ②相談コーナー（医療費などの相談・情報提供など） ③医療に関するアンケート ④お楽しみ企画（マスコットとの写真撮影、景品が当たるくじ引き）
お問合せ	医療運動部会まで（TEL：045-313-2111）